

# こみゆにていー戸隠

## 戸隠地区住民自治協議会広報 第39号

戸隠地区住民自治協議会事務局  
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554  
Tel : 254-2490 Fax : 254-2327  
e-mail : togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 小林 将信

【平成31年2月発行】

高千穂町  
交流事業

## 第27回 戸隠ホームステイ



スキー初滑りに挑戦



戸隠山をバックに



竹細工がんばって作りました

### スケジュール

12月26日～28日

#### 1日目

長野駅 着



スキー場



戸隠支所

ホームステイ受入れ式

#### 2日目

スキー交流



戸隠神社中社参拝



竹細工体験

#### 3日目

解散式



善光寺参り



長野駅 発



受入れ式での代表者あいさつ



戸隠神社を参拝



帰りに善光寺参り

第27回戸隠ホームステイが、12月26日～28日にかけて、高千穂町の児童6名引率者3名を迎えて行われました。

1日目、長野駅まで迎えに行きバスで戸隠スキー場へ向かいました。今シーズンは雪が少なくスキー体験が心配されましたが、初めてのスキー体験を楽しんでいました。1時間程するとリフトに乗り上の方へ行けるようになりました。2時間程滑りを楽しみ、支所での歓迎、対面式に向かいました。支所では、ホームステイの受け入れ家庭、支所の職員、関係者が出迎えました。式では代表によるあいさつ、自己紹介などが行われた後、受け入れ家庭に向かいました。

2日目、朝早くから戸隠の児童5名が参加してスキー交流に向かいました。今年度は、交流を深める為に1グループで行われたので良い交流が出来と思います。スキーも上達して午前中から4人乗りリフトで上がり何回も滑りを楽しんでいました。昼食を全員で「いただきます」をして食べ、午後のスキー交流を楽しみました。午後3時からは、戸隠神社を参拝し水野宮司さんより高千穂町と戸隠の神話伝説をお聞きしました。その後、竹細工体験が行われ皆一生懸命に取り組んでいました。

3日目最終日、支所に集合しお別れ式が行われ、両地区代表者からは「これからも交流を深めて行きたい」とあいさつが有りました。全員で記念撮影をし、一行は戸隠に別れを告げ善光寺参りをして帰路に着きました。

## 公民館委員会

## 文化祭・人権大会が開催される



愛唱歌を唄う



大熊先生の講演

平成30年度、戸隠地区文化祭・人権を考える集いが、12月2日（日）に戸隠公民館で開催され、大勢の皆様方に御来館して頂きました。文化祭・舞台発表では、ハーモニカを楽しむ会の皆様の演奏、サクスの演奏、戸隠公民館講座の愛唱歌を楽しむ会の皆様による唱歌を聞かせて頂きました。その後、小・中学生による人権に関する作文発表が有り、小学6年生は「認知症はいやな病気じゃない」、中学2年生は「障がい者の方から学んだこと」「人に寄り添いながら」を発表して下さいました。皆様の発表で、互いに助け合いの精神で見守りたく思います。

人権を考える集いでは、戸隠在住の大熊隆明先生による障がい者への理解と支援「みんなちがってみんないい」の講演がありました。講演では目に見えにくい障がいがある事、発達障がいには、目に見えにくいコミュニケーションを取る事が出来ない自閉症、読み書きや計算に困難を生じる学習障がいがあること等について学びました。こうした障がいを多くの方々々に正しく理解して頂きたいと改めて考えさせられました。

実行委員長 和田 智

## 健康福祉委員会

## ひとり暮らし高齢者の集い



大勢の参加ありがとうございました



りんごの湯にて

健康福祉委員という役を頂き高齢者の方々に対しいろんな取り組みをされている事を知ることが出来ました。

12月6日、「ひとり暮らし高齢者の集い」に送迎車3台で大勢の参加者と共に豊野のりんごの湯へ行かせて頂きました。美味しいお料理と温泉を堪能した後は、大好きなカラオケタイム！皆さんと楽しい時間を過ごさせて頂きました。スタッフの皆様のお陰で無事に行ってこれました。ありがとうございました。

一方では、こう言う集いに参加したくても参加出来ない方達が沢山おられるのも、今後の課題だと思いました。

ひとつひとつ自分に出来る事から高齢化社会のお手伝いが出来たらと思っています。

役が終わっても、何かの折に、声を掛けて頂けるとありがたいです。

健康福祉委員 小池 幾子

# 地域おこし協力隊 近況報告



農cafeのメニューの一例



古萱を利用した土作り

「農業をもっと面白く」を指針に仕事・活動をさせて頂いています。数ある戸隠の魅力のうち、私が注目しているのは土壌です。戸隠の有機物の多い火山灰土主体の黒ボク土は腐食含有量（炭素源）という点で全国平均を大きく上回ります。それは土壌微生物の活動旺盛な土壌であると言えます。

国際連合は2015年12月5日を世界土壌Dayとして決めました。適切な土壌管理が加盟各国の経済成長、貧困撲滅、女性の地位向上などの社会経済的な課題を乗り越えていくためにも重要であるという意思決定を意味します。同年に科学雑誌Natureには「Soil biodiversity and human health」という論文が掲載されています。

世界の流れを感じ、戸隠の魅力をより多くの方々にお届けする方法は何かと模索した末、昨年秋に農cafeと農家民泊をOPENするに至りました。農cafeでは手間暇かけて土作りを行った土壌から収穫した有機野菜や地元野菜を使った料理を提供し、「美味しい！」と言って頂くことを目指し、民泊では農村部で過ごしていただく中で戸隠ファンになって頂きたいと思っています。まだまだ未熟ですが、今後も応援と叱咤激励のほどお願い致します。

最後に「人は土から生まれ、土に還っていく」、私が尊敬する戸隠の農家さんの言葉です。 **水谷 翔**



竹採の講習会



戸隠と竹細工について考える

戸隠にお住まいの皆様こんにちは。戸隠に来て早1年と半年が過ぎました。そんな中、私が活動する戸隠中社竹細工生産組合に3つの嬉しいことが有りました。

1つ目は、平成30年、新たに8名の方々職人になるべく組合に加入し、技術習得を始めた事です。また、竹採、竹割の講座にも新たに7名の地区の方々に参加され、活気が出て来ています。

2つ目は、竹採に欠かせない山仕事に蕎麦屋の若手『麵sクラブ』の方々に参加して下さった事です。蕎麦と竹細工が互いを深く知り、支え合うことで一緒に出来ることが増えていくことが楽しみです。

最後3つ目は戸隠と竹細工の未来を一緒に考える仲間が増えて来ています。一人では乗り越えられないことも、一緒に考え共有出来る仲間があると進んで行けます。力を貸して下さい戸隠の方々に、改めて【ありがとうございます】と伝えたいです。 **西濱 芳子**

# 公民館委員会一年を振り返って

平成30年度は、住民自治協議会の組織改正があり、公民館委員会組織も一新されました。

公民館委員会は各地域公民館から2名ずつの計30名、人権教育推進委員と保護司を含めた総勢33名の最大委員会となりました。

本会は、人権同和研修の普及と実施の生涯学習事業とレクリエーション大会・成人式・市民運動会・文化祭を開催運営する地域コミュニティづくり事業を行い、これからは正に公民館の存在意義の実践部隊と言えます。

地域の活性化が必要だと誰もが言います。実践はというと、お願いと皆が言います。

そのな中、公民館長以下職員の方々には従来に固執せず柔軟な進化を段取り頂き、各委員長以下委員の皆さんには精力的に活動いただき、感謝の思いで一杯です。役員だけの苦労では事業は続きません。次年度の皆さんにも楽しい工夫と活動を期待します。

公民館委員会委員長 和田 一成



レクリエーション大会



成人式



市民運動会

## 道祖神とどんど焼きに思う

学生の時に、部活で戸隠地区内の道祖神について調査をしたことが有りましたので平成が終わる年に思い出してみました。

道祖神は、諸説有りますが、道路の守り神、子供の守り神、厄除け、安産祈願などの神様として各組に安置された身近な石仏である。各組の出入り口に安置され地元の人々を何時も見守っている。1月15日小正月（最近は暦の関計上日が変わる）のどんど焼きには、各家から松飾・ダルマ・お札・書初めなどを持ち合い燃やして厄を払う、厄除けの原点のようだ、私の組も毎年どんど焼きを行っている。当日は組員が集まり焚き物を積み上げ、道祖神の周りに麻殻で「おかりや」を作るのが恒例である。厄年や年男男女が松明にどんど焼きの火をつけ「おかりや」に点火をして厄払いをする火祭りです。

いろいろな行事が無くなって行く中、どんど焼きは今でも受け繋がれている行事かと思います。昔から続く各地区の行事を後世につなげていきたいものです。

中村組 宮川



集められた焚き物



道祖神とおかりや

編集後記

平成30年度も早いもので終わろうとしています、区長さんをはじめ各役員の皆様一年間住民自治協議会の運営にご協力を頂きましてありがとうございました。

次年度に向けて、スムーズに業務の引継ぎが出来ると良いですね。5月からは年号が変わります、平和で住み良い時代になって欲しいですね。まだまだ、寒い日が続きますので自分の体を大切に、春が来るのを待ちましょう。

事務局